

令和7年度

富 山 県 立 大 学

入 学 者 選 抜 要 項



富山県立大学入学試験実施本部

目 次

インターネット出願について	1
I 富山県立大学入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕	2
II 入学定員（募集人員）	5
III 入試日程等	6
IV 一般選抜	6
V 学校推薦型選抜	14
VI 障害のある志願者の出願について	17
VII 私費外国人留学生入試	17
VIII 学生募集要項（細目）の公表	18

インターネット出願について

富山県立大学では、令和4年度（2022年度）入学者選抜から、「一般選抜（前期日程・後期日程）」及び「学校推薦型選抜」においてインターネットによる出願登録を実施しています。

インターネット出願の導入に伴い、紙媒体（冊子）の学生募集要項の作成・配布は行わず、本学ホームページ（<https://www.pu-toyama.ac.jp/>）での公表のみとなりますので、ご注意ください。

■ 出願の流れ

STEP1 事前準備・入試内容の確認

本学ホームページにアクセスし、出願を希望する入試区分の学生募集要項をダウンロード・印刷するなど、入試内容をよく確認してください。

STEP2 出願情報の登録

パソコン等で本学ホームページからインターネット出願サイトにアクセスし、画面の指示に従って、入試区分、志望学科や個人情報（氏名、住所等）など必要事項の入力や、顔写真のアップロードを行ってください。

STEP3 入学考査料の支払い

登録した支払い方法（コンビニエンスストア、クレジットカード、金融機関ATM（Pay-easy）、ネットバンキングのいずれか）で、入学考査料を支払ってください。（支払いには別途手数料が必要です。）

STEP4 必要書類の印刷

入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、出願に必要な「入学志願票」等をダウンロード・印刷してください。

STEP5 必要書類の郵送

印刷した「入学志願票」と他の必要書類（調査書等）を合わせて、出願期間内に必着となるように「書留速達」で本学宛てに郵送してください。

【注意】 インターネット出願サイトでの登録及び入学考査料の支払いを行っただけでは出願手続きは完了していません。出願期間内に必着となるよう、出願に必要な書類を必ず書留速達で郵送してください。

STEP6 「受験票」及び「受験上の注意」の印刷

出願が受理された方には、出願期間終了後、登録したメールアドレスへ「受験票」及び「受験上の注意」等の印刷のご案内を送信します。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ず印刷して、試験当日持参してください。（本学からは郵送しません。）

I 富山県立大学入学者受入方針【アドミッション・ポリシー】

富山県立大学は、科学技術の素養に富み人間性豊かな人材、そして創造力と実践力を兼ね備え、地域および社会に貢献できる人材の育成を教育の基本方針としています。

1 工学部

工学部では、21 世紀の重要な課題である「自然や人間に優しい技術の創出」に役立つ教育研究を重点として、しっかりとした専門的学力と深い探究心を育てることに力を注いでいます。さらに、かの「万能の天才」レオナルド・ダ・ヴィンチの旺盛な創造意欲や好奇心に学び、新たな可能性にチャレンジする気概を育てることをめざしています。

以上のような教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った学生の入学を希望します。

- 1 自然科学に興味を持ち、科学技術の基盤となる理系の基礎学力がある。
- 2 困難な問題に直面しても、問題の解決に向けて努力しようとする。
- 3 自分で考え、自分の言葉で表現しようとする。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して社会に貢献したいと思う。

機械システム工学科では特に次のような人を求めます

機械工学分野の基礎知識と学力を身につけ、幅広い視野をもって機械技術者の立場から地球環境問題などの今日的課題に立ち向かう意欲のある人

電気電子工学科では特に次のような人を求めます

電気・電子・通信・制御の各分野の基礎知識と技術者としての考え方を身につけ、社会の変化に対応できる高度な電気・電子技術や通信・制御システムの開発に挑戦する意欲のある人

環境・社会基盤工学科では特に次のような人を求めます

循環型社会の構築、自然との共生及び地球環境保全に貢献する知識・技術を身につけ、広い視野にたってさまざまな環境問題を解決しようとする意欲のある人

生物工学科では特に次のような人を求めます

化学と生物学に興味を持ち、自然環境と調和するバイオテクノロジーによる豊かな社会を作り、生命・食・環境に関わる課題を解決する意欲のある人

医薬品工学科では特に次のような人を求めます

健康長寿社会の実現に向けて、工学の視点から研究・開発・製造を行い、優れた医薬品や医療技術を生み出す意欲のある人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【一般選抜（前期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。さらに、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力・判断力・表現力等の能力とを評価する個別学力検査を課し、これらと調査書の内容を総合して選抜します。

【一般選抜（後期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価し、これと調査書の内容を総合して選抜します。個別学力検査は課しませんが、大学入学共通テストについては前期日程より数学、理科を重視した配点とし、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力や判断力等の能力とを評価します。

【学校推薦型選抜】

英語、数学の基礎学力テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力・判断力・表現力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

【私費外国人留学生入試】

日本語と理系教科（数学、理科）の日本留学試験を課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力・判断力・表現力及び英語の基礎的な能力等を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

2 情報工学部

情報工学部では、情報やデジタルの技術を軸に機械工学や電子工学など工学に立脚する科学技術で、現代社会の抱える様々な課題を主体的に解決しようとする能力と意欲のある人材育成を目的とします。この目的を達成するために、次のような心構えや意欲、基礎学力を持った学生の入学を希望します。

- 1 情報科学や自然科学に興味があり、科学技術に必要な理系の基礎学力を有する人
- 2 現代社会の抱える課題に対して主体的に挑戦しようとする意欲のある人
- 3 深い専門知識とともに幅広い教養を身につけ、自らの活動を通じて地域や国際社会に貢献したいと思う人
- 4 多様な意見や文化を尊重しながら自らの考えを表現でき、協調的な人間関係を築こうとする人

データサイエンス学科では特に次のような人を求めます

データサイエンスの専門知識に興味があり、社会課題に対してデータに基づき数理的に分析・推論し解決方策を導く能力と、新たな価値を他者との協働で創造できる能力を身に付けることに意欲のある人

情報システム工学科では特に次のような人を求めます

仮想と現実の両空間で進化する情報社会の課題に目を向け、理論と実践に基づいた唯一無二の情報技術の研究開発を行い、多様な人々の自己肯定感を向上させることに意欲のある人

知能ロボット工学科では特に次のような人を求めます

ロボットは、情報工学による知能と、機械、電子機器を統合したシステムであって、それらの融合領域の学問であるロボット工学を修め、革新的な科学技術を創造する意欲のある人

＜入学者選抜の基本方針＞

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【一般選抜（前期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。さらに、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力・判断力・表現力等の能力とを評価する個別学力検査を課し、これらと調査書の内容を総合して選抜します。

【一般選抜（後期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価し、これと調査書の内容を総合して選抜します。個別学力検査は課しませんが、大学入学共通テストについては前期日程より数学、理科を重視した配点とし、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力や判断力等の能力とを評価します。

【学校推薦型選抜】

英語、数学の基礎学力テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力・判断力・表現力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

【私費外国人留学生入試】

日本語と理系教科（数学、理科）の日本留学試験を課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力・判断力・表現力及び英語の基礎的な能力等を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

3 看護学部

看護学部では、幅広い教養と人々への共感的態度を備えた人間性豊かな人材、さらに、創造力、実践力及び探究心を兼ね備え、多職種と協働しながら地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

以上の教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った人の入学を希望します。

- 1 人々の健康や生活に関心を持ち、幅広い基礎学力がある。
- 2 困難な課題に直面しても、課題の解決に向けて主体的に取組み、努力しようとする。
- 3 多様な考え方を尊重しながらも、自分の考えを表現し、他者との関係性を築いていける。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して地域社会に貢献したいと思う。

＜入学者選抜の基本方針＞

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、以下の選抜方式を実施します。

【一般選抜（前期日程）】

文系・理系を問わず幅広い基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力や表現力等の能力を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び調査書の内容を総合して選抜します。

【一般選抜（後期日程）】

文系・理系を問わず幅広い基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これとコミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び調査書の内容を総合して選抜します。

【学校推薦型選抜】

英語、数学の基礎学力テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力や表現力等の能力を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

Ⅱ 入学定員（募集人員）

学部	学 科	入学 定員	募 集 人 員				
			学校推薦型選抜			一般選抜	
				うち県外	うち職業科	前期	後期
工学部	機械システム工学科	60 名	14 名	2 学科計 5 名以内 (各学科 3 名以内)	2 学科計 2 名程度 (県内のみ)	39 名	7 名
	電 気 電 子 工 学 科	45 名	11 名			29 名	5 名
	環境・社会基盤工学科	55 名	14 名	1 名以内	1 名程度 (県内のみ)	36 名	5 名
	生 物 工 学 科	40 名	11 名	2 学科計 2 名以内	2 学科計 2 名程度 (県内のみ)	26 名	3 名
	医 薬 品 工 学 科	35 名	10 名			23 名	2 名
	小 計	235 名	60 名	8 名以内	5 名程度 (県内のみ)	153 名	22 名
情 報 工学部	データサイエンス学科	40 名	11 名	3 学科計 8 名以内	3 学科計 3 名程度 (県内のみ)	26 名	3 名
	情報システム工学科	60 名	15 名			40 名	5 名
	知能ロボット工学科	60 名	15 名			40 名	5 名
	小 計	160 名	41 名	8 名以内	3 名程度 (県内のみ)	106 名	13 名
看護学部	看 護 学 科	120 名	48 名 (県内のみ)	—	—	62 名	10 名
計		515 名	149 名	16 名以内	8 名程度 (県内のみ)	321 名	45 名

- ・職業科とは、機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科については、文部科学省学校基本調査にいう「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。生物工学科、医薬品工学科については、「工業に関する学科」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。データサイエンス学科、情報システム工学科、知能ロボット工学科については、「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。
- ・県内及び県外とは、富山県内及び富山県外を指し、高等学校等の所在地をいう。

Ⅲ 入試日程等

入試区分		対象学部	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続締切日
一般選抜	前期日程	工 学 部 情報工学部 看護学部	令和7年1月27日(月) ～2月5日(水)必着 (2月4日(火)消印有効)	令和7年 2月25日(火)	令和7年 3月8日(土)	令和7年 3月15日(土)必着
	後期日程	工 学 部 情報工学部		(実施しない)	令和7年 3月22日(土)	令和7年 3月27日(木)必着
		看護学部		令和7年 3月12日(水)		
学校推薦型 選抜		工 学 部 情報工学部 看護学部	令和6年11月1日(金) ～6日(水)必着 (11月5日(火)消印有効)	令和6年 11月22日(金)	令和6年 12月6日(金)	令和6年 12月19日(木)必着

(注) 詳細については、必ず学生募集要項を確認してください。

☆県外試験会場の設置について

工学部及び情報工学部は、一般選抜（前期日程）において、本学射水キャンパスに設置する試験場に加え、名古屋市（JR名古屋駅付近）、さいたま市（JR大宮駅付近）に試験場を設置します。詳細については、学生募集要項 **一般選抜**等を確認してください。

看護学部は、県外試験会場を設置しません。

一般選抜（前期日程） 工学部、情報工学部県外試験会場

名古屋会場 ウィンクあいち（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

大宮会場 TKP 大宮駅西口カンファレンスセンター（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1）

Ⅳ 一般選抜

1 工学部

(1) 出願資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学の受験に必要な教科・科目を全て受験した者

学校教育法施行規則第150条第7号の規定に該当する者として出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うので、本学入学試験実施本部に申請書類を請求すること（申請期間は令和6年9月9日(月)から9月13日(金)まで）。

(2) 令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

① 前期日程

《全学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」「生物」から1科目 (注2)	
外国語	「英語」 (注3)	

② 後期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」	
外国語	「英語」 (注3)	

《環境・社会基盤工学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」から1科目 (注2)	
外国語	「英語」 (注3)	

《生物工学科、医薬品工学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」「生物」から1科目 (注2)	
外国語	「英語」 (注3)	

(注1) 「国語」については、「近代以降の文章」のみを合否判定に利用する。なお、100点換算して利用する。

(注2) 「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注3) 「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。

(注4) 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

(3) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査（前期日程のみ）の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 個別学力検査の実施教科・科目等（注1）

ア 前期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科》

実施教科等	実施科目等	時間
数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C (注2)	120分
理科	物理（物理基礎・物理）	90分

《環境・社会基盤工学科》

実施教科等	実 施 科 目 等	時 間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C (注2)	120 分
理 科	物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学) から1科目 (注3)	90 分

《生物工学科、医薬品工学科》

実施教科等	実 施 科 目 等	時 間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C (注2)	120 分
理 科	物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学)、 生物(生物基礎・生物) から1科目 (注3)	90 分

(注1) 個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2) 「数学A」は「数学と人間の活動」を、「数学B」は「統計的な推測」及び「数学と社会生活」を、「数学C」は「数学的な表現の工夫」を除く。

(注3) 「理科」については、試験開始後に選択し、解答すること。

イ 後期日程

個別学力検査は課さない。

② 大学入学共通テストと個別学力検査の配点

ア 前期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共通テスト	100 点	200 点	100 点	250 点	650 点
個別学力検査	—	250 点	200 点	—	450 点
計	100 点	450 点	300 点	250 点	1,100 点

《生物工学科、医薬品工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共通テスト	100 点	200 点	100 点	300 点	700 点
個別学力検査	—	250 点	200 点	—	450 点
計	100 点	450 点	300 点	300 点	1,150 点

イ 後期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共通テスト	100 点	500 点	300 点	300 点	1,200 点
個別学力検査	—	—	—	—	—
計	100 点	500 点	300 点	300 点	1,200 点

《生物工学科、医薬品工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共通テスト	100 点	450 点	300 点	300 点	1,150 点
個別学力検査	—	—	—	—	—
計	100 点	450 点	300 点	300 点	1,150 点

(4) 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜（一般選抜）における、旧教育課程を履修した高等学校卒業生等に対する経過措置については、以下のとおりとする。

①大学入学共通テストにおける経過措置

教科	科目	経過措置
数学	数学Ⅰ，数学A	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」の選択解答を認める。
	数学Ⅱ，数学B，数学C	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅱ・旧数学B」の選択解答を認める。

② 個別学力検査における経過措置

「数学」及び「理科（物理、化学、生物）」の出題において、旧教育課程履修者の不利にならないよう配慮する。

③ 旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

(5) 志望学科の選択

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
- 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
- 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

2 情報工学部

(1) 出願資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学の受験に必要な教科・科目を全て受験した者

学校教育法施行規則第150条第7号の規定に該当する者として出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うので、本学入学試験実施本部に申請書類を請求すること（申請期間は令和6年9月9日(月)から9月13日(金)まで）。

(2) 令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

① 前期日程

《全学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」(注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」「生物」から1科目(注2)	
外国語	「英語」(注3)	

② 後期日程

《全学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」(注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」	
外国語	「英語」(注3)	

(注1) 「国語」については、「近代以降の文章」のみを合否判定に利用する。なお、100点に換算して利用する。

(注2) 「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注3) 「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。

(注4) 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

(3) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査（前期日程のみ）の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 個別学力検査の実施教科・科目等（注1）

ア 前期日程

《全学科》

実施教科等	実施科目等	時間
数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C(注2)	120分
理科	物理（物理基礎・物理）	90分

(注1) 個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2) 「数学A」は「数学と人間の活動」を、「数学B」は「統計的な推測」及び「数学と社会生活」を、「数学C」は「数学的な表現の工夫」を除く。

イ 後期日程

個別学力検査は課さない。

② 大学入学共通テストと個別学力検査の配点

ア 前期日程

《全学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共通テスト	100 点	200 点	100 点	250 点	650 点
個別学力検査	—	250 点	200 点	—	450 点
計	100 点	450 点	300 点	250 点	1,100 点

イ 後期日程

《全学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共通テスト	100 点	500 点	300 点	300 点	1,200 点
個別学力検査	—	—	—	—	—
計	100 点	500 点	300 点	300 点	1,200 点

(4) 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜（一般選抜）における、旧教育課程を履修した高等学校卒業生等に対する経過措置については、以下のとおりとする。

① 大学入学共通テストにおける経過措置

教科	科目	経過措置
数学	数学Ⅰ，数学A	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」の選択解答を認める。
	数学Ⅱ，数学B，数学C	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅱ・旧数学B」の選択解答を認める。

② 個別学力検査における経過措置

「数学」及び「理科（物理、化学、生物）」の出題において、旧教育課程履修者の不利にならないよう配慮する。

③ 旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 * 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

(5) 志望学科の選択

情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科（データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科）から第2志望学科を選択することができる。

3 看護学部

(1) 出願資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学の受験に必要な教科・科目を全て受験した者

学校教育法施行規則第150条第7号の規定に該当する者として出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うので、本学事務部教務学生課入試・学生募集グループ（富山キャンパス）に申請書類を請求すること（申請期間は令和6年9月9日（月）から9月13日（金）まで）。

(2) 令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

① 前期日程

教 科	科 目	教科・科目数
国 語	「国語」 (注1)	5教科・5科目 (注6)
地理歴史 公 民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合， 世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」から1科目 (注2)	
数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」から 1科目 (注3)	
理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」 「生物」「地学」から1科目 (注4)	
外 国 語	「英語」 (注5)	

(注1) 「国語」については、「近代以降の文章」のみを合否判定に利用する。なお、150点に換算して利用する。

(注2) 「地理歴史、公民」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「地理総合／歴史総合／公共」は、3つの出題範囲のうち2つを選択解答すること。

(注3) 「数学」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注4) 「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答すること。

(注5) 「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。

(注6) 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

② 後期日程

前期日程に同じ

(3) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 個別学力検査等の実施教科・科目等

ア 前期日程

小論文（50 分）及び個人面接

イ 後期日程

個人面接

（注）個別学力検査等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

② 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点

ア 前期日程

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面 接	計
共 通 テ ス ト	150 点	100 点	150 点	100 点	200 点	—	—	700 点
個別学力検査等	—	—	—	—	—	100 点	200 点	300 点
計	150 点	100 点	150 点	100 点	200 点	100 点	200 点	1,000 点

イ 後期日程

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	計
共 通 テ ス ト	150 点	100 点	150 点	100 点	200 点	—	700 点
個別学力検査等	—	—	—	—	—	200 点	200 点
計	150 点	100 点	150 点	100 点	200 点	200 点	900 点

(4) 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜（一般選抜）における、旧教育課程を履修した高等学校卒業者等に対する経過措置については、以下のとおりとする。

①大学入学共通テストにおける経過措置

教科	科目	経過措置
地理歴史 公 民	「地理総合，地理探究」 「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」 「地理総合／歴史総合／公共」 「公共，倫理」 「公共，政治・経済」	旧教育課程により出題される「旧地理A」「旧地理B」「旧日本史A」「旧日本史B」「旧世界史A」「旧世界史B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」の選択解答を認める。
数 学	「数学Ⅰ」	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅰ」の選択解答を認める。
	「数学Ⅰ，数学A」	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」の選択解答を認める。
	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅱ・旧数学B」の選択解答を認める。

② 旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

V 学校推薦型選抜

1 工学部

(1) 出願要件

次の①から③までのいずれにも該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者とする。

① 次のアからウまでのいずれかに該当する者

- ア 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者又は令和6年度内に卒業した者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者又は令和6年度内に修了した者
- ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月修了見込みの者又は令和6年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針[アドミッション・ポリシー]に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1校から推薦できる人数は、富山県内の高等学校等は6名以内、富山県外の高等学校等は5名以内とする（普通科と職業科の併設校にあっても同じ。）。

(3) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）及び面接の結果を総合して行う。

① 基礎学力テスト実施教科・科目等（注1）

実施教科等	実施科目等	時間
外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ	60分
数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C（注2）	75分
面接	個人面接	

（注1）基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注2）「数学A」は「数学と人間の活動」を、「数学B」は「統計的な推測」及び「数学と社会生活」を、「数学C」は「平面上の曲線と複素数平面」及び「数学的な表現の工夫」を除く。

② 配点

基礎学力テスト		面接	計
外国語	数学		
100 点	150 点	250 点	500 点

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含む。

(4) 志望学科の選択

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
- 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
- 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

2 情報工学部

(1) 出願要件

次の①から③までのいずれにも該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者とする。

① 次のアからウまでのいずれかに該当する者

ア 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者又は令和6年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者又は令和6年度内に修了した者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月修了見込みの者又は令和6年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針[アドミSSION・ポリシー]に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1校から推薦できる人数は、富山県内の高等学校等は6名以内、富山県外の高等学校等は5名以内とする（普通科と職業科の併設校にあっても同じ。）。

(3) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）及び面接の結果を総合して行う。

① 基礎学力テスト実施教科・科目等（注1）

実施教科等	実施科目等	時間
外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ	60分
数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C（注2）	75分
面接	個人面接	

(注1) 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2) 「数学A」は「数学と人間の活動」を、「数学B」は「統計的な推測」及び「数学と社会生活」を、「数学C」は「平面上の曲線と複素数平面」及び「数学的な表現の工夫」を除く。

② 配点

基礎学力テスト		面接	計
外国語	数学		
100 点	150 点	250 点	500 点

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含む。

(4) 志望学科の選択

情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科(データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科)から第2志望学科を選択することができる。

3 看護学部

(1) 出願要件

次の①から③までのいずれにも該当し、富山県内に所在地を有する出身学校長が責任をもって推薦できる者とする。

① 次のア又はイのいずれかに該当する者

ア 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者又は令和6年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者又は令和6年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針[アドミッション・ポリシー]に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1校から推薦できる人数は、富山県内に所在地を有する高等学校等から6名以内とする。

(3) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト(外国語、数学)、小論文及び面接の結果を総合して行う。

① 基礎学力テスト実施教科・科目等 (注1)

実施教科等	実施科目等	時間
外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ	60分
数 学	数学Ⅰ・数学A (注2)	50分
小論文	小論文	50分
面接	個人面接	

(注1) 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2) 「数学A」は、「数学と人間の活動」を除く。

② 配点

基礎学力テスト		小論文	面接	計
外国語	数学			
100 点	100 点	100 点	200 点	500 点

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含む。

VI 障害のある志願者の出願について

障害のある入学志願者については、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ち、学生募集要項に記載する期日までに、本学に相談すること。

- 1 工学部及び情報工学部（射水キャンパス）
事務局教務課学生募集係 TEL (0766) 56-7500（代）
- 2 看護学部（富山キャンパス）
事務部教務学生課入試・学生募集グループ TEL (076) 464-5410（代）

VII 私費外国人留学生入試

1 募集人員

工学部

機械システム工学科	若干名
電気電子工学科	若干名
環境・社会基盤工学科	若干名
生物工学科	若干名
医薬品工学科	若干名

情報工学部

データサイエンス学科	若干名
情報システム工学科	若干名
知能ロボット工学科	若干名

2 出願要件

次の各号のいずれにも該当する者

- (1) 日本の国籍を有しない者
 - (2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和6年度（2024年度）日本留学試験において本学が指定する教科・科目を受験した者
 - (3) Test of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験した者
 - (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格「留学」（又は在日のまま「留学」へ変更できる在留資格）を有する者及び取得できる見込みの者
 - (5) 次のア又はイのいずれかに該当する者
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ 外国において、次のいずれかの資格を取得した者
 - ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
 - ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格
- (注) 日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本永住許可を得ている者は、本選抜に出願することはできない。

3 入試日程等

出 願 期 間	試 験 期 日
令和6年12月23日（月）、12月24日（火）	令和7年1月24日（金）

4 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、次に示す学力検査等の結果、その他出願書類審査の結果を総合して行う。

日 本 留 学 試 験			本学が実施する 学 力 検 査 等
受験を要する教科・科目	出題言語の指定	実施時期の指定	
日本語 理科（物理、化学、生物 から2科目選択） 数学（コース2）	日本語、英語どちらでも可	6月・11月どちらでも可	面接（英語能力の試問を含む。）

（注1）「日本語」については、「読解」及び「聴解・聴読解」の成績を合否判定に利用する。

（注2）日本留学試験において本学が指定する教科・科目を受験していない場合や面接を受けない場合は、「失格」とする。

- (2) 学力検査等の配点

日本留学試験の成績			面接	計
日本語	理科	数学		
400 点	200 点	200 点	400 点	1,200 点

5 志望学科の選択

工学部

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
- 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
- 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

情報工学部

情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科（データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科）から第2志望学科を選択することができる。

Ⅷ 学生募集要項（細目）の公表

学生募集要項は9月中旬に公表し、本学ホームページに掲載等を行う予定です。
詳しくは、本学ホームページ（<https://www.pu-toyama.ac.jp/>）をご覧ください。

◇不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等の発生により、本選抜要項の内容を変更する場合は、本学ホームページ等により周知しますので、出願前や受験前には特に注意願います。

本学ホームページ URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/>

入試に関する問い合わせ先

入試に関するお問い合わせは、志望する学部ごとに以下の宛先に行ってください。

学 部	担 当	住 所
工学部及び情報工学部 (射水キャンパス)	富山県立大学入学試験実施本部 (事務局教務課学生募集係)	〒939-0398 富山県射水市黒河 5180 TEL (0766) 56-7500 (代)
看 護 学 部 (富山キャンパス)	富山県立大学事務部教務学生課 入試・学生募集グループ	〒930-0975 富山県富山市西長江 2 丁目 2 番 78 号 TEL (076) 464-5410 (代)

URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/>

E-mail admission@pu-toyama.ac.jp